



2020年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月10日

上場会社名 株式会社協和コンサルタンツ 上場取引所 東
 コード番号 9647 URL http://www.kyowa-c.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 満
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員統括本部経営管理室長 (氏名) 黒瀬 雅弘 (TEL) 03-3376-3171
 四半期報告書提出予定日 2020年4月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第1四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	1,095	△2.1	△57	—	△62	—	△59	—
2019年11月期第1四半期	1,118	33.3	△47	—	△51	—	△43	—

(注) 包括利益 2020年11月期第1四半期 △55百万円(—%) 2019年11月期第1四半期 △33百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第1四半期	△102.26	—
2019年11月期第1四半期	△73.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第1四半期	6,601	2,072	29.2
2019年11月期	6,561	2,152	30.6

(参考) 自己資本 2020年11月期第1四半期 1,929百万円 2019年11月期 2,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年11月期	—	—	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	4.9	420	6.5	410	8.2	240	13.7	410.32
通期	6,500	0.7	260	△4.2	230	△6.4	100	△15.7	170.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年11月期 1 Q	586,100株	2019年11月期	586,100株
2020年11月期 1 Q	1,184株	2019年11月期	1,184株
2020年11月期 1 Q	584,916株	2019年11月期 1 Q	584,916株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期初においては、増税対策効果により内需が一時的に持ち直す動きを見せましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、中国向け輸出やインバウンド需要のほか各種サービスへの支出が減少し、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

一方、当社グループ主力事業の建設コンサルタント業界は、前期に引き続き国土強靱化関連の引き続き高い需要があり、社会インフラの点検・補修・補強業務や防災・減災業務などのハード分野を中心に、安定した市場環境にありました。

このような状況下、当社グループは、営業面では、今後、新型コロナウイルスの影響により予想される公共事業の発注遅延等に備え、まずは受注量を確保する営業活動を展開し、連結受注高で前年同期を上回る成果を上げることができました。生産面では、生産体制を拡充しつつ生産性向上に努め、受注残高の増加に応じた生産活動に注力し、前年同期を若干下回りましたが期初予定どおりの成果を上げることができました。

これらの取り組みのほか、再生可能エネルギー関連の取り組みにつきましては、学産官連携で実施している小水力発電機の農業用ハウス利用プロジェクトに対するフォローアップと、小水力発電を用いた地域活性化プロジェクトの提案営業、売電型小水力発電に関する技術ノウハウの蓄積等の活動を行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高1,680百万円（前年同期比7.6%増）、売上高1,095百万円（前年同期比2.1%減）、営業損失57百万円（前年同期は47百万円の損失）、経常損失62百万円（前年同期は51百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失59百万円（前年同期は43百万円の損失）となりました。

なお、当社グループは売上高の大半を官公庁からの受注業務が占めるという特性から、第1四半期の業績は一時的に売上高と固定費がバランスせず営業損失が例年のこととなっております。また、当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルスの影響は僅少であり、現段階において1月に開示した業績予想に対する進捗は順調に推移していると判断しておりますが、今後も引き続きこの影響を注視いたします。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(建設コンサルタント事業)

主力事業であります建設コンサルタント事業は、受注高1,201百万円（前年同期比5.3%増）、売上高726百万円（前年同期比5.6%減）、営業損失47百万円（前年同期は31百万円の損失）となりました。

(情報処理事業)

情報処理事業は、受注高477百万円（前年同期比14.0%増）、売上高368百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益23百万円（前年同期比40.6%増）となりました。

(不動産賃貸・管理事業)

不動産賃貸・管理事業は、当社子会社が主に連結グループ内企業に対してサービスを提供している事業で、受注高0百万円（前年同期比1.3%減）、売上高0百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益9百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

(注) 上記セグメント別の売上高は、外部顧客に対する売上高のみを表示しております。セグメント別の営業利益は、外部顧客に対する額に加え、セグメント間の額を含めて表示しております。内部売上高を含む詳細につきましては、[セグメント情報]をご参照下さい。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、6,601百万円となりました。これは、現金及び預金が減少した一方で未成業務支出金が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ119百万円増加し、4,528百万円となりました。これは、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、2,072百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことに加え前連結会計年度にかかる期末配当を実施したことにより、利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2020年1月17日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,558,194	2,184,357
受取手形・完成業務未収入金等	1,177,280	1,132,042
未成業務支出金	1,244,533	1,659,899
その他	62,769	58,003
流動資産合計	5,042,777	5,034,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	150,540	151,921
土地	526,435	526,435
その他(純額)	71,354	76,972
有形固定資産合計	748,330	755,329
無形固定資産	173,249	181,357
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	27,559	27,528
その他	608,030	640,985
貸倒引当金	△38,040	△38,040
投資その他の資産合計	597,549	630,472
固定資産合計	1,519,128	1,567,159
資産合計	6,561,906	6,601,462
負債の部		
流動負債		
業務未払金	380,858	294,880
短期借入金	2,100,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	20,000
未成業務受入金	773,420	913,580
未払法人税等	77,791	25,982
受注損失引当金	2,231	2,603
その他	544,419	455,149
流動負債合計	3,898,720	4,012,195
固定負債		
長期借入金	25,000	20,000
役員退職慰労引当金	155,719	150,054
退職給付に係る負債	279,916	286,495
その他	50,274	59,985
固定負債合計	510,911	516,536
負債合計	4,409,631	4,528,732

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	753,587	676,226
自己株式	△2,005	△2,005
株主資本合計	2,001,582	1,924,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,567	4,225
退職給付に係る調整累計額	900	675
その他の包括利益累計額合計	7,468	4,901
非支配株主持分	143,224	143,607
純資産合計	2,152,274	2,072,730
負債純資産合計	6,561,906	6,601,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
売上高	1,118,779	1,095,536
売上原価	854,784	836,723
売上総利益	263,995	258,813
販売費及び一般管理費	311,271	316,001
営業損失(△)	△47,276	△57,188
営業外収益		
受取利息及び配当金	479	507
受取家賃	2,629	2,040
その他	1,245	902
営業外収益合計	4,354	3,450
営業外費用		
支払利息	8,889	8,713
その他	-	404
営業外費用合計	8,889	9,118
経常損失(△)	△51,811	△62,856
税金等調整前四半期純損失(△)	△51,811	△62,856
法人税、住民税及び事業税	10,478	22,103
法人税等調整額	△30,917	△31,813
法人税等合計	△20,439	△9,709
四半期純損失(△)	△31,372	△53,146
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,873	6,667
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,245	△59,813

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
四半期純損失(△)	△31,372	△53,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,419	△2,341
退職給付に係る調整額	518	△225
その他の包括利益合計	△1,900	△2,566
四半期包括利益	△33,272	△55,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,146	△62,380
非支配株主に係る四半期包括利益	11,873	6,667

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客へ の売上高	769,058	348,788	932	1,118,779	—	1,118,779
(2) セグメント 間の内部売上高	—	13,134	14,620	27,755	△27,755	—
計	769,058	361,923	15,553	1,146,534	△27,755	1,118,779
セグメント利益 又は損失(△)	△31,253	16,377	8,389	△6,485	△40,790	△47,276

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△40,790千円には、セグメント間取引消去885千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△41,676千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客へ の売上高	726,112	368,503	920	1,095,536	—	1,095,536
(2) セグメント 間の内部売上高	—	13,392	14,620	28,013	△28,013	—
計	726,112	381,895	15,541	1,123,549	△28,013	1,095,536
セグメント利益 又は損失(△)	△47,157	23,032	9,576	△14,548	△42,639	△57,188

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△42,639千円には、セグメント間取引消去52千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△42,692千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。